

県営ため池緊急整備事業

緊急防災等工事計画書

キツネ堂大池地区

広島県

- 1 目 的
- 2 地 域 及 び 地 積
- 3 現 況
- 4 一 般 計 画
- 5 主 要 工 事 計 画
- 6 附 帯 工 事 計 画
- 7 工事の着手及び完了の予定時期
- 8 管理すべき施設の種類及び管理方法
- 9 環境との調和への配慮
- 10 事業費の総額及び内訳
- 11 効 用
- 12 関 連 す る 事 業
- 13 現況・計画図面

1 目 的

(1) 必 要 性

本ため池は、世羅町大字宇津戸字才迫周辺の農地をかんがいするため池である。ため池詳細診断によると、豪雨評価において健全度が低い結果となった。このため堤体決壊の危険性が高い状況となっており、堤体の安全性を確保するため洪水吐工の改修を要する。

本ため池の整備を行うことで安全性を確保するとともに、農業用水の貯水機能の維持をととして営農の安定を図る。

(2) 緊 急 性

ため池詳細診断によると、豪雨評価において健全度がなく、堤体決壊の危険性が高い結果となっており、堤体決壊の危険にさらされた状態である。

よって、受益農家及びため池下流側住民の安全安心の確保と、ため池決壊による被害を未然に防止するため、緊急に改修工事を実施しなければならない。

2 地 域 及 び 地 積

別表1のとおり

3 現 況

(1) 気 象

観測所名 世羅

年	降水量(mm)		気温 日平均(℃)	平均風速(m/s)	日照時間(h)
	合計	日最大			
2022	1,040.0	118.0	13.0	1.4	1,955.2
2023	1,257.5	100.0	13.9	1.5	2,044.4
2024	1,590.0	78.0	14.5	1.5	1,969.4

(2) ため池等施設決壊の場合の被害状況

別表2のとおり

4 一 般 計 画

別表3のとおり

5 主 要 工 事 計 画

別表4のとおり

6 附 帯 工 事 計 画

該当なし

7 工事の着手及び完了の予定時期

着	手	令 和	8	年度
完	了	令 和	9	年度

8 管理すべき施設の種類及び管理方法

別表5のとおり

9 環 境 と の 調 和 へ の 配 慮

別表6のとおり

10 事業費の総額及び内訳

(1) 総括表

事業名 区分	た め 池 緊 急 整 備 事 業	備 考
工 事 費	17,000 千円	
測 量 試 験 費		
機 械 器 具 費		
補 償 費		
営 繕 費		
実 施 設 計 費		
工 事 雑 費		
地 方 事 務 費	850	
計	17,850	

(2) 内訳表

別表7のとおり

11 効 用

事業名	項 目	年総効果(便益)額 (千円)	備 考
	区 分		
県営ため池緊急 整備事業	災 害 防 止 効 果	5,170	
	計		

＜ 参 考 ＞ 総費用総便益比： 6.60 ≧ 1.0
内訳は別表8のとおり

12 関 連 す る 事 業
該当なし

13 現 況 ・ 計 画 図 面
別紙のとおり

別表1 (地域及び地積)

事業名	現況地目	地域	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地(ha)	原野(ha)	山林(ha)	道水路敷 (ha)	その他 (ha)	計	備 考
	ため池名										
ため池緊急整備 事業	キツネ堂大池	世羅町宇津戸才迫	1.54	—	—	—	—	—	—	1.54	
	計		1.54							1.54	

別表2(ため池等施設決壊の場合の被害状況)

[illegible]

別表3(一般計画)

ため池名	施設名	-	形式	構造	洪水吐能力	越流水深	越流幅	敷 標 高	ゲート	計画雨量	流出率	計画洪水量
キツネ堂 大池	洪水吐	現 況	越流堰式	コンクリート	0.877 m^3/s	0.40 m	1.7 m	EL m 316.75	巾 - m 高 - m	mm/hr —	- %	- m^3/s
		計 画	越流堰式	コンクリート	2.720 m^3/s	0.60 m	2.8 m	EL m 316.55	巾 - m 高 - m	mm/hr 48.50	66 %	2.720 m^3/s
		現 況			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		計 画			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		現 況			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		計 画			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		現 況			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		計 画			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		現 況			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		計 画			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		現 況			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		計 画			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		現 況			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		計 画			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		現 況			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s
		計 画			m^3/s	m	m	EL m	巾 - m 高 - m	mm/hr	%	m^3/s

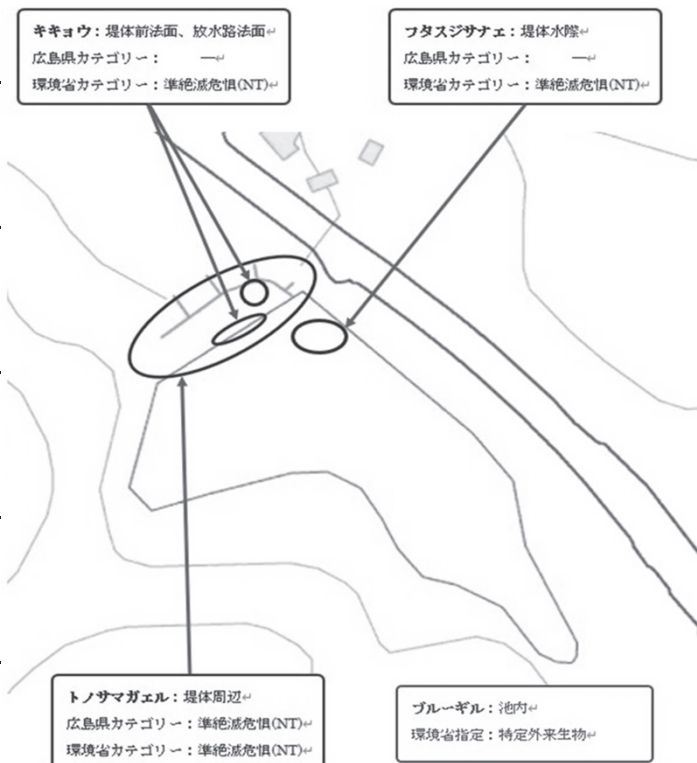
別表4(主要工事計画)

[illegible]

別表5(管理すべき施設の種類及び管理方法)

[illegible]

別表6(環境との調和への配慮)

ため池名	内容
キツネ堂大池	本地区では、保護種が3種確認された。トノサマガエル【広島県・環境省：準絶滅危惧】、フタスジサナエ【環境省：準絶滅危惧】、キキョウ【環境省：準絶滅危惧】となっている。キキョウについては、施工の影響範囲に生育しているため、移植が必要となる。施工前段階の草刈り前に株を確認した後に掘り取り、草刈り管理が行われている場所に移植を行う。トノサマガエルについては、水田に依存する種であり、ため池は主な繁殖場所ではないため、施工による直接的な影響は考えにくい。フタスジサナエについては、落水により一時的に生息水域は減少するが、周囲に生息域となる環境を確認しているため、施工後の再定着が見込まれ、影響は限定的と思われる。駆除種については、1種を確認した。ブルーギル【環境省：特定外来生物】となっている。 下流水域の生態系に影響を及ぼす可能性があるため、施工前の落水時には、底樋出口または排水ポンプの取水口・排水口に必ず網を設置するなど、下流域への流出による拡散を防止する。なお、捕獲した個体はその場で土のう袋等に入れ、へい死を確認後、生ゴミとして処分することが望ましい。
	【保護・駆除種の確認位置図】  キキョウ：堤体前法面、放水路法面 広島県カテゴリ：— 環境省カテゴリ：準絶滅危惧(NT) フタスジサナエ：堤体水陰 広島県カテゴリ：— 環境省カテゴリ：準絶滅危惧(NT) トノサマガエル：堤体周辺 広島県カテゴリ：準絶滅危惧(NT) 環境省カテゴリ：準絶滅危惧(NT) ブルーギル：池内 環境省指定：特定外来生物

別表7(内訳表)

(千円)

[illegible]

別表8(効用内訳表)

(千円)

ため池名	災害防止効果	計
キツネ堂大池	5,170	5,170
計	5,170	5,170